

募金運動本部が発足

水俣病
救 援

チッソ新労130万贈る

水俣病の被害者救済運動の一環として、水俣市の総務課内に「水俣病救済募金本部」（本部長 橋本市長）が発足した。さっそく募金受け付けを始めたが、チッソ新労（組合員千三百人）の沢田組

会長、森副組合長、山村書記長が同本部を訪れ、橋本本部長に現金百三十万円を贈ったほか同日早くも数人が寄金した。

同労組では一人千円あてのカンパを行なうて集めたもので、沢田組合長は「市民やわれわれがどんなに資金カンパをしても互助会の人たちの生活をそのまま救うことはできない。この資金をもとに各関係当局と交渉してスジの通った要求をかち取ってもらいたい」と話していた。

同募金本部にはこのほかにも福岡県柳川市の学生、水俣信用金庫の「陸美会」、一般の水俣市民などから現金が寄せられた。寄金は二十日ごとに締め切つて水俣病患者者家庭互助会に渡すことになっている。